



# 北都新聞

発行所  
株式会社北都新聞社  
〒098-0502  
名寄市風通町北栄町146-1  
☎ 01655-3-3111  
FAX 01655-3-4031

Exメール  
ownstyle@fifty.ocn.ne.jp

## 市 寄 名 除排雪で検討委設置 「市民合意の実施目指す」

【名寄】第1回定例市議会は15日午後、一般質問を続行、佐久間誠氏(市民連合・凜風会)が登壇した。市は除排雪の検討委員会設置に向け、検討を進める考えを示した。

佐久間氏は、土別市との1キあたりの除排雪コスト、除排雪車両の業者への貸与率、方法などを比較しながら市の除排雪体制の抜本的な改善をたじた。

中村勝己建設水道部長は、2012年の大雪後、積み上げ除雪を取り入れて道幅を確保するなどの近年の改善策を説明。「市民の声を聞く検討委員会の設置を除排雪体制の手段として検討し、市民合意による除排雪事業の実施を目指したい」と答えた。

同氏は、最高でも1人2万4000円

の個人負担で所得にかかわらず高齢者の門口

除雪を行っている美幌市の門口除雪事業条例

を例示し、「冬季の環境整備は人口減の歯止め策になる」と市制度の拡充を求めた。

馬場義人ことも高齢支援室長は「市に当てはめて試算すると負担が7000万円以上増える」と現行制度に理解を求めた。

同氏は、豊西小閉校後に伴う新しい通学路の安全対策を質問。小川勇人教育部長は「西12条は中央通一南2までの浅江島公園側を歩道除雪で確保する。女性交通指導員の協力で街頭指導を行い、安全対策を進める。信号や標識は粘り強く要望して

いく」と答えた。  
(吉永雅人)

北都新聞(株)印刷部

〒098-0502 名寄市風通町北栄町146-1

電話 01655-3-3111  
FAX 01655-3-4031



名 寄 新 聞 2016年(平成28年)3月17日(木曜日)



佐久間議員(市民連合・凧風会)は、除雪のあり方に関し、高齢者宅前の除雪制度拡充で「除雪助成券は所得制限が壁となり、利用できない世帯もある。美唄市は『間口除雪条例』を制定し、市民税課税世帯も有償で実施。公益性の観点から名寄市でも検討してみたい」と質問。

馬場義人健康福祉部長は「70歳以上の世帯は3150世帯となり、全てを対象とする機械除雪の場合、8200万円ほどの費用となり、現行より7300万円増加と述べ、排雪マシン助成との兼ね合いなどもあることから、当面は導入する予定はないとした。

除排雪体制の抜本的な改善策では「もともと予算を取って除雪すべき」との声を聞いている」に対し、中村勝巳

建設水道部長は「25年度から幹線道路の排雪を最大4回行うなど、経費は3000万円増加。近年の除雪費は決算ベースで4億2000万円前後。委託業者の経営体力は厳しく、市からの車両貸与を増やして機動力を維持したい。市民の意見や要望を受け問題を解決する検討委員会の設置を検討したい」と答えた。

通学児童の安全確保

に関連し、豊西小学校閉校に伴う通学区変更の安全対策で、小川教育部長は「横断歩道設置には道路側に歩道があり、除雪されていることが条件だが、現段階では満たすことができず、一部通学路を変更することになったが、女性交通安全指導員の協力をいただき安全指導をしたい」。

冬季の歩道確保では「学校周辺では道路側の歩道を確保すべき」と質問。小川教育部長は、車道幅員確保のため片側の歩道を雪堆積スペースとして使用していることを説明し、理解を求めた。

自動車・火災 各種保険  
がん保険 医療保険

**株式会社**